

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 5月 8日	
石川県知事	殿
提出者	
住 所 石川県加賀市大聖寺上木町口49-1	
氏 名 NISSHAプレジジョン・アンド・テクノロジーズ株式会社 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
代表取締役 西本 裕	
電話番号 0761-73-3970	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	NISSHAプレジジョン・アンド・テクノロジーズ株式会社
事業場の所在地	石川県加賀市大聖寺上木町口49-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
② 事業の規模	34,928百万円 (2024年度売上高)
③ 従業員数	795人 (派遣社員含む)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工程内で発生する産廃 ↓ 産業廃棄物置き場、タンク ↓ 処理委託業者 回収

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
<p>工場長 ↑ 産業廃棄物責任者 ↑                      ↑                      ↑ 購買部門            各部門            管理部門</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・契約書</li><li>・官公庁各届出書</li><li>・構内廃棄物管理（保管、置場）</li></ul>	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	t
	t
②計画	
産業廃棄物の分別	
①現状	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

別紙 1  
参照

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】			
<h1>別紙 1</h1> <h1>参照</h1>				t
				t
				t
				t
				t

②計画

# 別紙 1

## 参照

t

t

t

t

t

※事務処理欄

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
① 現状	【前年度（2024年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	木くず	安定型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	排 出 量	785.9tt	1148.0t	573.8t	563.0t	1464.7t	7.7t	2.1t	1.5t	0.3t
	（これまでに実施した取組） ・ ISO-14001、9001活動に伴う良品率改善による使用量の削減。 ・ 分別回収の徹底。 ・ 工場内 5 S 活動の取り組みを実施。									
② 計画	【2025年度目標】									
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	木くず	安定型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	排 出 量	778.0t	1136.5t	568.0t	557.3t	1450.0t	7.6t	2.1t	1.4t	0.3t
	（今後実施する予定の取組） 2024年度は2023年と同様の生產品目・数量の見込み。 ・ ISO-14001、9001活動に伴う良品率改善による使用量の削減。 ・ 分別回収の徹底。 ・ 工場内 5 S 活動の取り組みを実施。 ・ 有価売却化の検討。									
産業廃棄物の分別に関する事項										
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 産業廃棄物と特別管理産業廃棄物の保管場所を区別し、表示をして明確に管理している。 ・ 各工程で分別ペールを設置している。									
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 現状を継続実施									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
① 現状	【前年度（2024年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	木くず	安定型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	全処理委託量	785.9t	1148.0t	573.8t	563.0t	1464.7t	7.7t	2.1t	1.5t	0.3t
	優良認定処理業者への処理委託量	785.9t	848.5t	573.8t	563.0t	936.8t	0.1t	2.1t	1.5t	0.3t
	再生利用業者への処理委託量	772.5t	1147.0t	573.8t	0	1464.7t	7.6t	2.1t	1.5t	0.3t
	認定熱回収業者への処理委託量	13.4t	1.0t	0	563.0t	0	0.1t	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>年1回の委託業者への視察を実施し、法令順守、施設の確認を実施し、産廃処分、特別管理産廃許可証の有効期限の確認をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISO-14001、9001活動に伴う良品率改善による使用量の削減。</li> <li>・ 分別回収の徹底。</li> </ul>									

② 計画	【2025年度目標】									
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	木くず	安定型混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	全処理委託量	778.0t	1136.5t	568.0t	557.3t	1450.0t	7.6t	2.0t	1.4t	0.3t
	優良認定処理業者への処理委託量	778.0t	840.0t	568.0t	557.3t	927.4t	0.1t	2.0t	1.4t	0.3t
	再生利用業者への処理委託量	764.7t	1135.5t	568.0t	0	1450.0t	7.5t	2.0t	1.4t	0.3t
	認定熱回収業者への処理委託量	13.3t	1.0t	0	557.3t	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 年1回の委託業者への視察を実施し、法令順守、施設の確認を実施し、産廃処分、特別管理産廃許可証の有効期限の確認をする。 ISO-14001、9001活動に伴う良品率改善による使用量の削減。 分別回収の徹底。									
※事務処理欄										